

2018年4月4日

ネットヨタ東京(株) 交通遺児等育成基金に寄付

ネットヨタ東京株式会社(社長 片山 守、以下ネット東京)は、車検や法定点検を通じチャリティーで集めた100万円を交通遺児等育成基金(小幡 政人会長、千代田区麴町)に寄付した。毎年実施している社会貢献活動の一つで、今回で16回目となった。

ネット東京の小泉一夫常務取締役と佐藤正則総務部長が同基金を訪れ、内田啓二専務理事に目録を手渡した。浄財は、車検や法定点検の入庫売り上げの中から1台につき5円を集め、それにネット東京のマッチングギフトとして5円をプラスした10円をベースにしている。2017年度は約8万台の入庫があり、それに社員に販売した「キロボミニ」の売り上げを加えて寄付した。

内田専務理事は「交通事故の件数が減少していることは喜ばしいことだが、支援の対象者数は事故の累積数となる。毎年継続して支援いただき大変ありがたい」と謝意を示した。

小泉常務は「自動車販売会社として、今後もお客様の協力もいただきながら支援を継続していく」と述べるとともに、サポカーの普及に貢献し交通事故撲滅を目指すとした。

同基金は、交通遺児家庭が損害賠償金などの中から支払った拠出金を運用し、これに国の補助金や民間企業の支援金を加え、交通遺児が満19歳に達するまで育成給付金を支給している。1980年から制度を開始し、これまでに約3600人の交通遺児が加入し、育成給付を受けている。

《寄付の様子》



〈お問い合わせ先〉 総務部 根本・能勢 TEL : 03-6400-6976

ネットヨタ東京株式会社